



## (1) ユニバーサル都市・福岡推進協議会の設置目的

- **みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市・福岡」の実現を目指し、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、誰もが住みやすく、過ごしやすい街づくりの推進を図ること**

※ユニバーサルデザインの理念

年齢、性別や国籍、障がいの有無等を問わず、すべての人が自由に快適に利用でき、行動できるような思いやりあふれる配慮を、まちづくりやものづくりなどのあらゆる場面で、ハード・ソフトの両面から行っていこうとする考え方

## (2) 今年度の主な取組み

**新規**

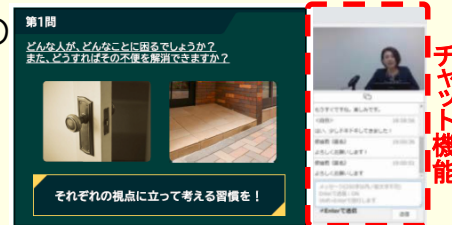
- **Instagram等を活用したユニバーサルデザインに関する情報発信**【総務企画局】

- ・ユニバーサル都市・福岡の公式Instagramを開設し、身近なユニバーサルデザインに関する写真をクイズ形式で投稿するとともに、市民の方に身近なユニバーサルデザインの写真を投稿していただくキャンペーンを実施
- ・ユニバーサルデザインを実践している企業を紹介する、企業向けホームページを開設

**新規**

- **福岡版ユニバーサルマナー検定（講座）の実施**【総務企画局】

- ・高齢者や障がい者への接し方等について、福岡市の身近なユニバーサルデザインの事例を取り入れた福岡市オリジナルの講座を、市民を対象にオンラインで実施（ユニバーサルマナー検定3級取得）



<オンラインによる受講イメージ>

**新規**

- **在住外国人の生活環境の整備**【総務企画局・区役所】

- ・区役所に転入手続きに訪れた外国人を対象に、電話通訳やAIなどの多言語対応ツールを活用し、ゴミ出しのルール・マナーなどの生活ガイダンスを実施（7月開始）

**新規**

- **福岡市版認知症アクションアライアンスの構築促進**【保健福祉局】

- ・企業等が認知症に関する理解を深め、認知症フレンドリーなサービスや商品の開発を推進する場を構築するため、企業を対象とした勉強会や企業ネットワークの構築支援等を実施

**新規**

- **Dカフェの開設支援**【保健福祉局】

- ・認知症の人の活躍の場を創出するとともに認知症への誤解や偏見の解消を図るため、認知症の人がスタッフとして働くDカフェの実施主体となる企業を開発

**新規**

- **農福連携の推進**【農林水産局・保健福祉局】

- ・農業分野において障がい者の活躍の場を創出するため、先進事例の現地視察や先進事業者による勉強会等を実施するとともに、農業指導技術を持つ福祉事業所職員の育成を支援（7月開始）

**新規**

- **NET119緊急通報システムの整備**【消防局】

- ・聴覚や発話に障がいがあるなど音声による通報が困難な方が、スマートフォンなどから簡単に119番通報ができるシステムを整備（8月運用開始）



**新規**

- **外国人児童生徒等への支援の推進**【教育委員会】

- ・外国人児童生徒の状況把握と就学促進のため、外国人就学状況訪問調査を実施するとともに、外国人保護者への支援充実のため、TV電話通訳タブレットを追加導入（タブレットは導入済）

**継続**

- **ベンチプロジェクトの推進**【保健福祉局】

- ・誰もが外出しやすいまちを目指し、市内全域へのベンチ設置を促進（R元年度末時点 ベンチ設置数 131箇所 209基）



- **ユニバーサルデザイン(UD)タクシーの導入促進**【住宅都市局】

- ・高齢者や車いす利用者、来街者など誰もが利用しやすいUDタクシーの導入費用の補助を実施

補助予定：200台  
補助上限額：20万円/台（R元年度補助台数 129台）

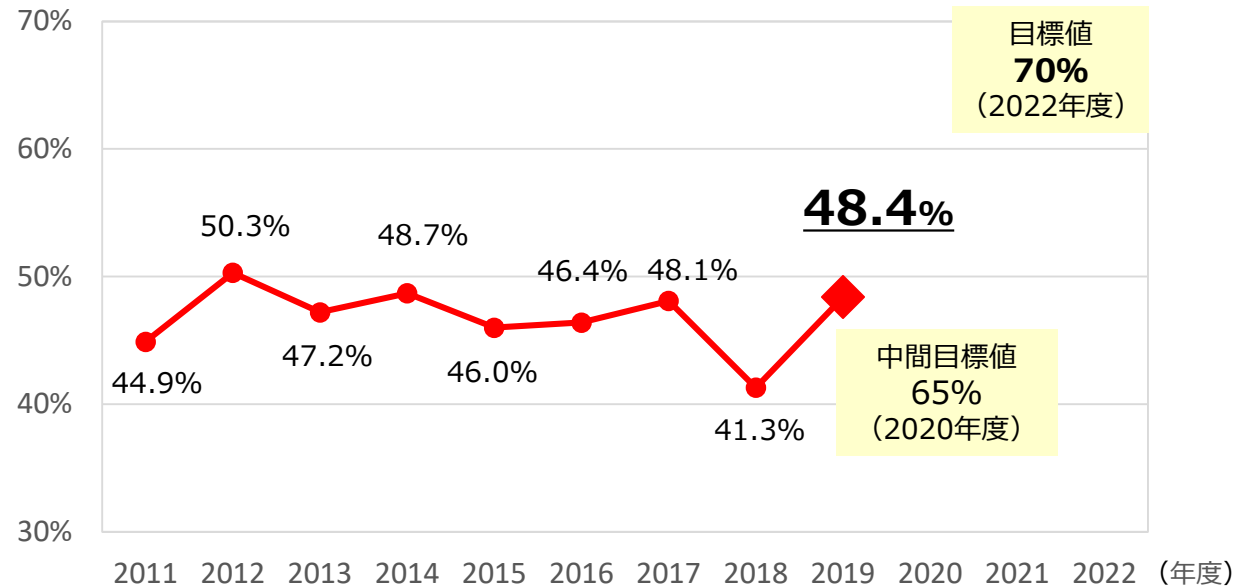


- **「認知症の人にもやさしいデザインの手引き」**【保健福祉局】

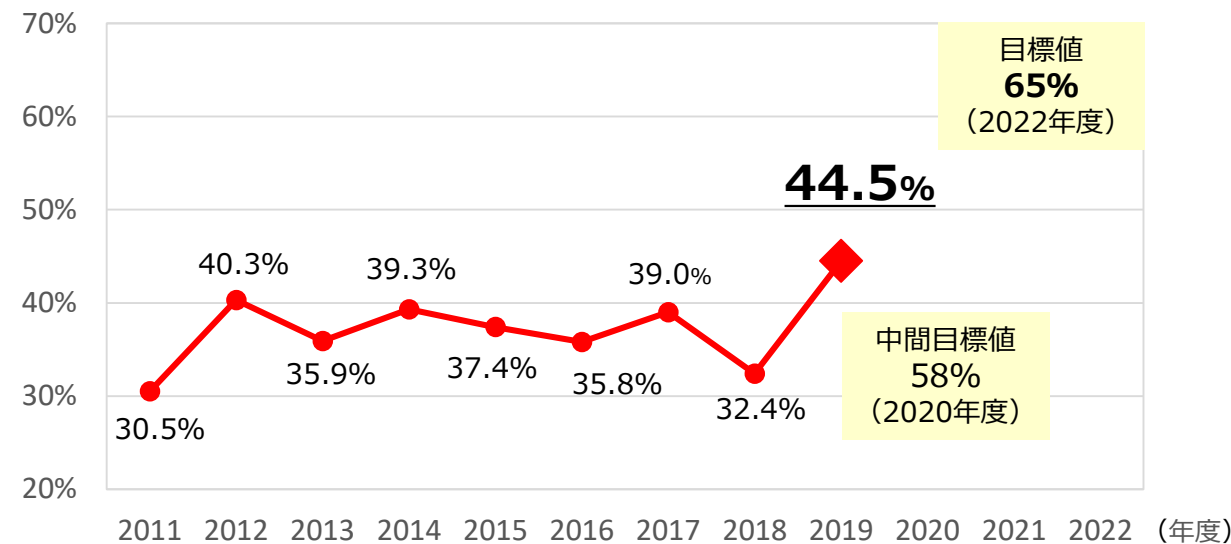
- ・認知症の人がストレスなく安心して生活できる環境を整備するため、手引きの周知を実施（令和2年3月策定）

## (3) 成果指標

### ユニバーサルデザインの概念の理解度 (ユニバーサルデザインという言葉の意味を知っている市民の割合)



### ユニバーサルデザインの取組みへの評価 (ユニバーサルデザインの取組みが進んでいると思う市民の割合)



### ＜参考＞ 令和元年度市政アンケート調査結果報告より抜粋

#### ②「ユニバーサル都市・福岡」について(N=543)

